

「重症患者における脾臓体積と予後の関連に関する研究」 に対するご協力のお願い

研究責任者 多村 知剛
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 救急医学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2015 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に慶應義塾大学病院の救急・集中治療センターで診察、検査、処置、治療などを受けた 18 歳以上の患者さんのうち、入室の前後 1 週間以内に腹部 CT 画像を撮影されたかた

ただし、以下のかたはのぞかせていただきます。

本研究への不参加を表明したかた

研究責任者、または、研究分担者が本研究に含めることが不適當であると認めたかた

2 研究課題名

承認番号 20251034

研究課題名 重症患者における脾臓体積と予後の関連に関する観察研究

3 研究組織

研究機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部救急医学・慶	助教 多村知剛
應義塾大学病院救急科	

4 本研究の目的、方法

重症患者さんの死亡率は高く、予後の予測は重要です。現状では、臨床情報を用いた予後の予測についての研究がありますが、さらに患者さんの予後の予測や改善を目標として、今回の研究を行います。近年、免疫に重要な役割を持つ臓器である脾臓の大きさが、予後と関連しているのではないかと考えられ始めています。このことから、2015 年から 2024 年に集中治療センターを検査・治療で受けた患者さんを対象として、脾臓の大きさ、病状の経過やその後の体調の変化を既存のデータを電子カルテから抽出し、予後や経過、検査結果などとの関連を調べます。

脾臓の大きさが予後の予測に役立つことがわかれば、予後の予測のスコアリングシステムに新たな要素が加わることによって、予後の予測の精度向上に寄与する可能性があります。

5 協力をお願いする内容

電子カルテから以下の情報を抽出させていただき、脾臓体積と転帰や血液検査結果などとの関連を調べます。

臨床情報（年齢、性別、身長、体重、バイタルサイン、対光反射、初期波形、発生場所、病態、No flow time、Low flow time、witness、bystandar、既往歴：肝硬変、自己免疫性疾患、HIV、化学療法、血液疾患、担癌患者、心不全、DM、喫煙、アルコール依存、認知症、COPD/喘息、高血圧、CKD）、NEWS（呼吸数、SpO2、酸素投与量、体温、血圧、心拍数、意識レベル）、Charlson comorbidity index（心筋梗塞、うっ血性心不全、末梢動脈疾患、脳血管障害、認知症、慢性肺疾患、膠原病、消化性潰瘍、軽度肝疾患、糖尿病、限局性固形癌、白血病、リンパ腫、中～重度肝疾患、転移性固形癌、AIDS）、転帰・予後（28 日死亡、院内死亡、非人工呼吸期間、ICU 滞在期間、HCU 滞在期間、modified Rankin Scale、Cerebral Performance Categories : CPC、Glasgow Outcome Scale Extended : GOSE、脳波、心電図、CT 検査画像、CT 画像検査時間、放射線読影レポート、日数、血液検査結果（WBC、Hb、PLT、PT-INR、APTT、Fib、D-d、FDP、Lac、Cr、AST、ALT、γGTP、ALP、LDH、T.Bil、D.Bil、I.Bil、Na、K、Cl、Ca、Mg、P、BUN、Cr、CK、CKMB、TnT、BNP、CRP、プロカルシトニン、NSE、Glu、HbA1c、血液ガス）、SOFA（P/F、PLT、血圧、GCS、Cr、尿量）、血液・尿・痰検査結果、血液・尿・痰培養、APACHE2（体温、平均血圧、心拍数、AaDo2、PaO2、pH、Na、K、Cr、Hct、WBC、HCO3）、診断名、治療内容（使用薬剤、電気的除細動、手術、IVR、体温管理、カテコラミン、挿管、人工呼吸器使用、腎代替療法）

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

ありません

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

氏名:前島 克哉

所属:救急医学 職名 助教

連絡先電話番号:03-3225-1323

E-mail : kmaeshima@keio.jp

以上